

▼ 第24回花びしカップ臥牛山ヨットレース

昨年より2艇少ない18艇での今回のレース。ここ数年当協会のレースのレベルが回を重ねる毎にレベルアップしているのはスタートの位置取りを見ても明らかである。しかし、ヨットは風で走るのは当たり前であるが、数メートルのポジションで明暗が分かれる。海面の状況はもとより他艇の動向もタクティクスとしては重要なプラス材料である。そして函館山の吹きおろしの風も場合によっては気まぐれであるがそれらの条件をいかに組立、自艇のポテンシャルとクルーワークを如何に最大限発揮するかは持ち前の感と経験でしかない！！とかっこいいことを話しても面白くない。

今回のレセプション表彰式では入賞者の副賞に日本酒とウイスキーを用意したのだが、優勝のNANAのゲットした久保田の万寿をふるまったところ、なんと行列ができる隠れ日本酒愛好家の多いこと！来年はもう少し日本酒（日本酒好きの滝野さんのリクエストを十分聞き入れ）を準備して盛り上げたいと考えております。また、今日は生！でしょう！！と田中総務委員長にも喜んでいただけるよう缶からやはり生ビールと有名な日本酒でさらに会を盛り上げていきたいと考えております。入賞者おめでとう！！

石川 彰

▼ タモリカップヨットレース2014

YOKOHAMA 前夜祭編

昨年に引き続き「タモリの日本一楽しいヨットレース」に函館から石川理事長・石川 仁氏・井口ご夫婦・石川照充ご夫婦・前田淳一そして東京在住の井口家の美人姉妹、私の友人女性2名の11名が参加、（レース参加8名）

そして今回もお世話になったYBM所属艇オセアニス38のオーナー塘内氏のご友人3名、計15名での大宴会突入となった！会場はYBM内のスペースだがエリアも広く何しろ規模が半端ではない参加167艇に対し前夜祭参加は何と2000人以上！

司会は元フジTVのウッチーこと内田恭子とニッポン放送の垣花正、ウッチーTVで見るよりGoodですよ～皆さん～ これで盛り上らない訳がないのだ…タモリ氏の音楽の後輩にあたる「マリンセーラーズ！もちろんピチピチギャル」の演奏からスタート！

料理はこれまたスゴイ焼肉は食べ放題、その他協賛している吉野家系のから揚げ、牛丼、ステーキ他ピザパイ、讃岐うどん、等々目玉はタモリ氏が一晩かけて作った自慢の海軍カレーと盛り沢山、ワタシも全て食べてないんです、飲み物はこれまたタモリ氏がオリジナルで作らせたタモリの顔ラベルのビールとその生ビール、モルトウイスキー、八海山、その他飲み放題と協賛している規模の大きさが伺いしれる…

そうこうしているうちにタモリ氏登場で大盛り上がり同氏の発声で乾杯！！

ここでタモリ氏のコメントがワタシ的にうけた！

「若者を少しでもヨット界に増やそうとやったパーティーですが飲んでるうちに

「どうでもいいや～」オヤジたちで楽しもうという心境です！（笑！）全国的に若者不足なんですね…。

さてさて宴もたけなわここでステージはタモリカップには欠かせないテーマでもある「ヨットとサルサの大

カーニバル」のメインゲスト！タモリ氏が愛してやまないサルサバンド「オルケスタ・デ・ラ・ルス」登場！ワタシも大ファンでありまして去年同様酒とカメラ持参でステージの一番前で大はしゃぎ！ビデオ全部録画しました普通のライブではあり得ないですね！

ラストにはタモリ氏もコンガ演奏に加わり会場はスゴイ熱気！ラストの曲も終わりタモリ「明日！レースに参加してくれるかな!!」会場「いいとも!!!」

笑っていいとも～♪の演奏で宴は終了！なんとも楽しい前夜祭でした…2時間半じゃ宴会時間足りんよ…さてさてヨットで2次会じゃ！

Ps, 参加費はタモリオリジナルcupも付いて¥5000!!「ん～オルケスタのライブチケット代にもならんぞ！」改めてスゴイカーニバルだと…思いました。

タモリ氏いわくタモリカップはレースはもとよりアフターヨット！宴会が大事と…これってうちら外帆の趣旨と一緒にですねそういえば最近クラブレースの参加人数増えてますもんね（前田淳一）

昨年に引き続きの参戦、昨年は強風で前日に突然の中止の公示、ヨットは風で走るんだろー！しかし、ハーバーの受け入れ態勢がままならないとのことで中止のようだった。気持ちを切り替え前夜祭にそのやるせなさをぶつけ大いに盛り上がった。と言うことで今年は朝方雨が降ったもののスタート時刻とともに風も次第に吹き始め10時スタートのころには10mも吹いてたろうか、170艇の参加で3グループに分けてのスタートとは言え、50艇以上の同時スタートはやはり楽しみと言うか不安と言うか何とも言えない緊張感、スタートの前に出艇申告と言う形で恒例のタモリ様の前を洋上パレード。今年では中型帆船の未来（全長・幅・・・52.16m×8.60m）の甲板上に立っているタモリ様に拝礼、しかし、170艇が順番も関係なく我先へと艇を進ませる。強風とどしゃ降りと横風の中、なかなか艇をコントロールするのも難儀であった。無事拝礼を終え一路スタートラインへ艇を進める。風も徐々に上がり10メートル以上はあったか？イグアナグループ（主催者の意向が理解していない早すぎるレース艇）が先にスタート、やはりそれなりの名の通った艇が綺麗なセールカーブを描き突進していく。

10時スタートだがフラッグが上がる前にラインを切ってるかも？これもタモリカップのおおらかな光景なのか、リコールフラッグも上がらず5分後には第2グループがスタート！我がレディーホーク（オセアニス38F）が第3グループでスタート、スタートラインがやや長めに引いていたのも幸いし特に問題なくスタート、一路上マークをめざす。上マークからサイドマークそして又上マークを目指すころには第1グループのトップ艇が追い越して行く（さすが）。そうもこうも何とかフィニッシュラインに近づきゴールを狙うが流されツータックを余儀なくすることになるが、今度はフィニッシュラインが短く何艇もが刺さりこんでくるためこれまたひやひやもの！しかしなんとかフィニッシュできた。結果はいいともAグループ（スピン無）で堂々の3位！次の日の表彰式でトップで名前が呼ばれ予想だにできなかった入賞（本当は各グループ1位が入賞）だが大変満足、函館出身合同メンバーで今回の参戦は記念になったお遊びレースであった。